

新 和歌山博物館施設デジタル化計画 1,512万円

近代美術館、博物館、紀伊風土記の丘が有する収藏品などのデータベース化を行い、その魅力をWEBの活用により国内外へ発信します。

拡 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組 7,678万円

「南紀熊野ジオパーク探偵団」などにより、次世代を担う人材を育成するとともに、南紀熊野ジオパークセンターに「海のジオサイト」の解説コーナーを設置し、海洋環境への取組など研究教育活動を強化します。



フェニックス褶曲



南紀熊野ジオパーク探偵団
現地活動

新 「紀伊風土記の丘」・「自然博物館」新館建設 1億5,260万円

令和10年度の開館をめざし、紀伊風土記の丘と自然博物館の新館建設計画を推進します。

- ◆ 展示機能を効果的かつ魅力的にリニューアル
- ◆ 収蔵庫を拡充することで、貴重で膨大な所蔵品を最適に保管

拡 魅力的な景観まちづくりの推進 1,787万円

空き家や廃墟が増加し、地域の魅力が低下しないよう、県に「まちづくり推進ワーキンググループ」を設置し、景観の保全等を推進する重点エリアを設定し、魅力的な景観まちづくりに取り組む市町村を支援します。

- ① 空き家対策の促進
- ② 未利用建築物の除却・跡地活用
- ③ 予防保全型の景観まちづくりの推進

新 わかやまスクールパワーアップ 1,009万円

各学校における児童生徒の主体的な取組や地域の実情に応じた取組など、創意工夫を凝らした活動を支援します。



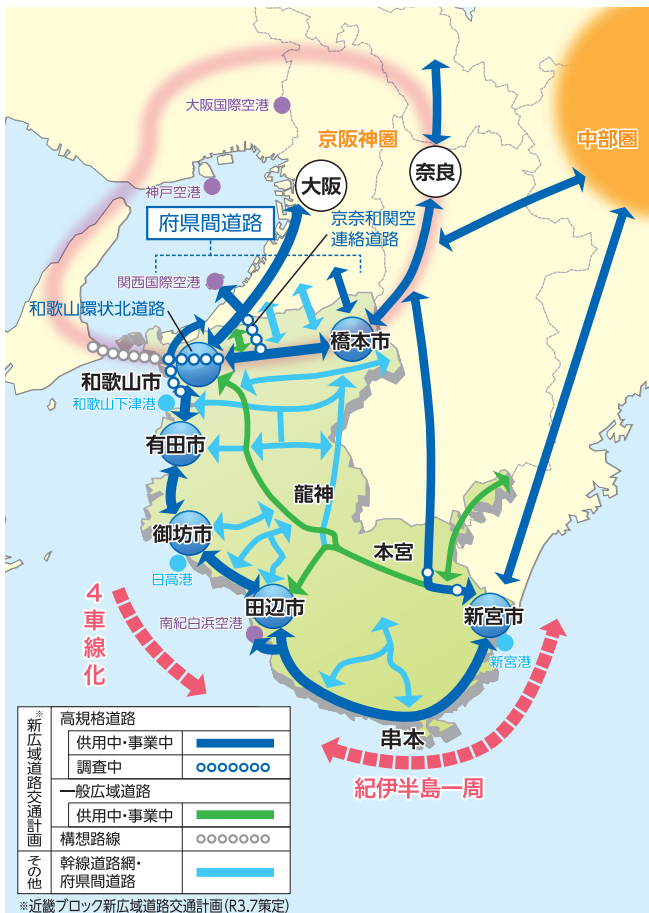
高校生が商品開発した梅干しの販売

新 自然環境等にやさしい工事推進体制の整備

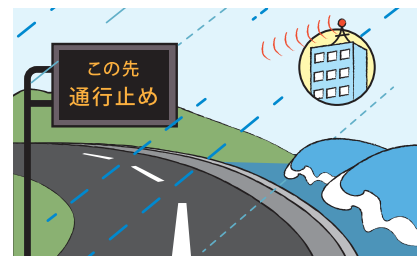
自然環境を保全すべき地域での工事や開発に伴う生態系などへの過度な負担を抑止するため、環境に配慮した工法等を推進する仕組みを導入します。

道路ネットワークの整備 340億377万円

企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路などの早期整備を推進します。



新 道路や河川分野におけるDXの推進



3億6,550万円

電光掲示板などによる通行規制の迅速化や航空測量データを活用した河川管理の高度化など、

ICT技術を活用した道路や河川の施設管理の高度化、安全性の向上に取り組みます。

津波による犠牲者ゼロ 23億7,866万円

南海トラフ巨大地震等による津波に備え、津波避難困難地域の解消に向けた対策を、概ね10年間(2015年～2024年)で計画的に実施していきます。

避難路や津波避難タワーの整備支援、河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の整備を推進するとともに、被災後のまちづくりを想定した復興計画の事前策定に取り組む沿岸市町を支援します。



津波避難タワー

③ 飛躍を支える人と地域を創る

新 宇宙教育の推進 584万円

串本古座高校に、公立高校としては全国初となる宇宙専門のコースを令和6年度に新設するなど、宇宙について学びたい生徒を県内外から呼び込み、宇宙教育を通じて科学への興味・関心や学ぶ意欲を高め、未来を切り拓く人材を育成します。



提供: 和歌山県宇宙教育研究会 (缶サット甲子團の様子)

総合的な洪水・土砂災害対策の推進 110億3,912万円

集中豪雨や台風による水害等の被害軽減を図るため、県内主要河川の整備や国営総合農地防災事業による農地湛水被害対策を推進します。また、砂防関係施設の整備を推進するなど、土砂災害対策に取り組めます。



萩の谷川(田辺市)砂防堰堤

国は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、事業規模約15兆円を措置

新 「和歌山県安全安心なインフラ構築宣言」の推進 3,500万円

和歌山市六十谷の水管橋崩落事故を契機に行った点検結果をもとに、国・県・市町村・民間事業者が一体となって、県内すべてのライフラインのリダンダンシーの確保を推進するとともに、市町村の取組を強力に支援します。

新 スタンフォード大学遠隔講座 1,040万円

海外大学への進学など、世界へ挑戦する生徒を育成するため、県内の高校生向けにカスタマイズした英語のライブ授業をスタンフォード大学と共同で提供します。



新 きのくに学力向上総合戦略 6,483万円

将来を担う子供の学力向上を図るため、中学校において、県独自の学力調査を年2回実施し、生徒個人の課題を把握することで復習教材の提供や補充学習を行うとともに、教員への指導力向上に向けた研修を行います。